

今週（6月24日から6月28日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールON物は、0.075～0.078%での出会いが中心となり、概ね横ばい圏での推移となった。
加重平均レートは、週初24日(月)に一部の先から試し取りが行われた事により0.081%まで上昇したが、25日(火)以降は0.077～0.078%での推移に戻り、前週対比で概ね同水準となった。28日(金)は、四半期末にあたり、調達を見合わせる先が散見されたものの、レート水準に大きな変化は見られなかった。
ターム物は、証券業態の調達を中心に0.2%台を中心に出会いが散見された。

日銀の当座預金残高は、週初554兆円程度からスタートし、その後は国債買入による増加と発行要因による減少が見られたものの、概ね横ばい圏での推移となった。

●レポ市場

今週のGC T/Nは、▲0.050～+0.095%とワイドレンジでの推移となった。週前半は、オファーサイドの資金調達姿勢が強く見られたことからレートが上昇したものの、27日(木)は月末跨ぎの取引となったことから一時的にレートが低下する展開となった。
SCについては、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6Mゾーンが堅調に推移し、3Mゾーンと1Yゾーンが軟調に推移した。
28日(金)に行われた3M物の入札は、やや強い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは小じっかりと推移した。

●CP市場

今週のCP市場は月末発行週にあたり、その他金融業、食料品、卸売業、電気機器等、複数の業態で大型発行が行われた。
市場発行残高は、24兆円台後半から25兆円台で推移した。
発行レートは、0.1%以上で推移しているが、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

25日(火)に行われたCP等買入オペは、事前予定通り3,000億円でオファーされた。結果は、按分レート0.167%、平均落札レート0.184%と、前回（按分0.158%、平均0.186%）比で按分レートは上昇、平均レートは低下した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
6/24（月）	38,804.65	0.985	159.81	0.081	0.086	5,539,400
6/25（火）	39,173.15	0.995	159.50	0.078	0.084	5,554,500
6/26（水）	39,667.07	1.020	159.72	0.077	0.052	5,535,900
6/27（木）	39,341.54	1.070	160.67	0.077	△ 0.061	5,526,000
6/28（金）	39,583.08	1.040	160.95	0.076	0.047	5,517,800

来週（7月1日から7月5日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
7/1 (月)	6月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50) 6月の消費動向調査(内閣府 14:00)				6月のISM製造業景況指数 5月の米建設支出
7/2 (火)	6月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y 26,000億円 7/3発行			6月のユーロ圏消費者物価指数速報値
7/3 (水)	7月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)				5月の米貿易収支 5月の米製造業新規受注・出荷・在庫 6月のISM非製造業景況指数
7/4 (木)		30Y 9,000億円 7/5発行			New York祝日(Independence Day)
7/5 (金)	6月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 5月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 5月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TB3M 52,000億円 7/8発行			6月の米雇用統計

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/1 (月)	500	▲ 14,600	▲ 14,100	国債買入 国債補完	25,400	6,700	32,100	18,000	TB3M発行▲55,000償還58,000 2Y発行▲26,000償還14,700
7/2 (火)	600	▲ 15,000	▲ 14,400				0	▲ 14,400	
7/3 (水)	▲ 1,000	▲ 54,000	▲ 55,000				0	▲ 55,000	税・保険料揚げ 10Y発行▲26,000
7/4 (木)	▲ 500	0	▲ 500				0	▲ 500	
7/5 (金)	▲ 500	▲ 9,000	▲ 9,500				0	▲ 9,500	恩給 30Y発行▲9,000
週 間 合 計	▲ 900	▲ 92,600	▲ 93,500	—	25,400	6,700	32,100	▲ 61,400	

7/1は日銀予想、7/2以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、積み期後半に差し掛かり調達サイドのスタンスに変化が開始することが想定されるものの、出合い水準に大きな影響はなく、引き続き0.075～0.078%での出合いが中心となることが予想される。債券レポGC T/N物のレート水準は、入札が続くことなどからレートは徐々に上昇し、0.04～0.09%のレンジで推移することが予想される。短国市場は、5日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、期初発行にあたり、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では1日(月)に6月調査の日銀短観(概要及び要旨)、海外では、1日(月)に6月のISM製造業景況指数、2日(火)に6月のユーロ圏消費者物価指数速報値、3日(水)に6月のISM非製造業景況指数、5日(金)に6月の米雇用統計などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入